様式第1号（第6条関係）

平成 　 年 月 日

山口県立大学長　様

**動物実験計画書**

　山口県立大学動物実験規則第6条第1項に基づき、下記のとおり動物実験計画の承認を申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| **研究課題名** |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **動物実験責任者名**（選択項目を■） | フリガナ  氏名　　　　　　　　　　　印 | 所　属 | 職名 | 教育訓練受講の有無 |
| 教育訓練受講年 |
| 動物実験等の経験年数 |
| TEL： |  | □有　　□無 |
|  |
| 年 |
| **動物実験実施者名**  （括弧内にフリガナ、選択項目を■） | ( ) | TEL： |  | □有　 □無 |
|  |
| 年 |
| ( ) | TEL： |  | □有　 □無 |
|  |
| 年 |
| ( ) | TEL： |  | □有　　□無 |
|  |
| 年 |
| ( ) | TEL： |  | □有　　□無 |
|  |
| 年 |
| ( ) | TEL： |  | □有　　□無 |
|  |
| 年 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **実験実施予定期間** | | 承認後 ～ 平成　　年　　月　　日 | | | | |
| **動物実験の種類**（選択項目を■）　　□ 試験･研究　　□ 教育･訓練　　□ その他（　　　　　　　　　　） | | | | | | | | | | | |
| **飼養保管施設及び実験室**  （選択項目を■） | | 飼養保管施設 | □　動物実験室(AELab) | | | | | | （承認番号　施29第2号） | | |
| 実験室 | □　生化学・基礎栄養学実験室 | | | | | | （承認番号 施29第1号） | | |
| **使用動物** | | 動物種  （系統） | 性別 | 匹数 | 齢 | 微生物学的保証 | | 遺伝学的保証 | | 入手先 | 備考 |
|  |  |  |  |  | |  | |  |  |
|  |  |  |  |  | |  | |  |  |
|  |  |  |  |  | |  | |  |  |
|  |  |  |  |  | |  | |  |  |
|  |  |  |  |  | |  | |  |  |
| **動物実験を必要とする理由**（選択項目を■） | □ 代替手段がない  □ 代替手段の感度･精度が不十分である  □ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | | | | | | |

|  |  |
| --- | --- |
| **動物実験の目的** | 目的、意義、予想される成果について項目ごとに記載する。  （目的）  （意義）  （予想される結果） |

|  |  |
| --- | --- |
| **実験方法**  （該当項目をすべて■） | □ 1 飼料投与 □ 2 材料採取 □ 3 外科的処置 　□ 4 行動の観察  □ 5 遺伝実験 □ 6 有害化学物質等　　 □ 7 遺伝子組み換え実験  ※本学では、病原体の感染動物実験、放射線物質の投与動物実験を行うことはできない。 |
| 該当する項目の内容と使用動物数の根拠を下欄に具体的に記載する。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **特殊実験区分**  （該当項目をすべて■） | □  □  □ | 1 遺伝子組み換え動物使用実験  　区分： □ P1A □ P2A 　（承認番号：　　　　　　　）  2 化学発癌・重金属等実験  3 該当なし |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **想定される苦痛のカテゴリー**（選択項目を■、詳細についてはマニュアル参照） | □  □  □  □ | | **B** 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。  **C**  脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み（短時間持続するもの）を伴うと思われる実験。  **D**  脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み（長時間持続するもの）を伴うと思われる実験。  **E**　無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近いまたはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。 |
| **動物の苦痛軽減、排除の方法**（該当項目をすべて■、複数の薬剤を使用する場合はそれぞれについて記入） | □  □  □  □  □  □ | | 1 短時間の保定・拘束及び注射等、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。  2 長時間の保定・拘束が避けられない。  （その理由を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  3 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。  （その理由を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  4 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。  （薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  5 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとる等の人道的エンドポイントを考慮する。  6 その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **安楽死の方法**（該当項目をすべて■、複数の薬剤を使用する場合はそれぞれについて記入） | □  □  □  □ | | 1 麻酔薬等の使用  （薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  2 炭酸ガス吸入  3 頸椎脱臼  4 安楽死させない（その理由を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **動物死体の処理方法**（選択項目を■） | □  □ | | 1 外部業者に依託  2 その他（具体的に記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **備考** |  | | |
| **委員会記入欄** | | 審査終了：平成　　年　　月　　日 | | |
| 修正意見等 | | |
| 審査結果  　□ 本実験計画は、山口県立大学動物実験規則等に適合する。  □ 本実験計画は、山口県立大学動物実験規則等に適合しない。 | | |

|  |  |
| --- | --- |
| **学長承認欄** | 承認：平成　　年　　月　　日 |
| 本実験計画を承認する。  　　　承認番号： 計　第　　　　　　　　　　　　号  　　　承認期限：　　　　　　　　　　　　 まで  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　山口県立大学長 |